



全国JA飼料用米利活用協議会



取組の概要

対象畜種

ブロイラー、採卵鶏、養豚

協議会構成員

住田フーズ株式会社、株式会社西日本ジェイエイ畜産、宇都宮農業協同組合、静岡県経済農業協同組合連合会、北日本くみあい飼料株式会社、全農物流株式会社、全国農業協同組合連合会

飼料用米生産面積

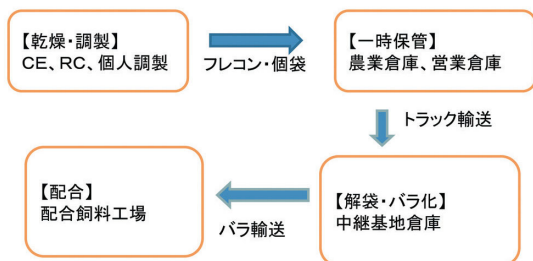
173.0ha

供試品種

あさひの夢、あいちのかおり、コシヒカリ、彩のかがやき、モミロマン（関東飼226号）他

取組内容

①飼料用米の流通、保管、調製に係る実証調査



調製

- ◆JAが共乾施設（CE、RC等）で調製を行いました。
- ◆共乾施設を利用することのできない生産者は、自己の保有する調製機により、あるいは機械利用組合等のミニRC等へ作業委託し、調製を行いました。

保管

- ◆農業倉庫および営業倉庫で保管しました。なお、具体的な保管場所は、JAおよび倉庫業者と協議・決定しました。
- ◆保管期間中の米穀の品質の低下を防止するため、低温保管期間（集荷開始～10月下旬）においては低温保管を実施しました。

- ◆票せんの表示（フレコンの場合）、シールやラベルの貼付（紙袋の場合）、保管場所の選定等により、主食用米と区分し、別は管理を徹底して保管しました。

流通

- ◆飼料工場への原料玄米搬入は「ばら」で行うことが必要となることから、事前に農業倉庫から中継基地（営業倉庫）への搬入を行いました。
- ◆その上で、飼料工場への原料搬入の直前に、中継基地で個袋またはフレコンを解袋・ばら化し、原料搬入を行いました。
- ◆一部数量（フレコン）については、中継基地を経由せず、飼料工場へ直送しました。

②飼料用米の給与による家畜・畜産物への影響調査

1. ブロイラー

- (1) 試験設計
 - 配合飼料に玄米粉砕品を40%配合。ブロイラーに対して26～50日齢まで給与。
- (2) 調査項目
 - ア. 飼料成分：一般成分、脂肪酸組成
 - イ. 発育成績：体重、食下量、育成率
 - ウ. 鶏肉質：ムネ肉とモモ肉の色調調査
 - エ. 鶏肉成分：ムネ肉とモモ肉の一般成分、脂肪酸組成
 - オ. 食味試験：ムネ肉の食味試験

2. 採卵鶏

- (1) 試験設計
 - 配合飼料に玄米を50%配合。採卵鶏に対して33～41週齢まで給与
- (2) 調査項目
 - ア. 飼料成分
 - イ. 産卵成績：産卵率、卵重、飼料摂取量、生存率
 - ウ. 卵質：ハウユニット、卵殻強度、卵殻厚、卵黄色、卵重量構成比率
 - エ. 鶏卵成分：一般成分、脂肪酸組成
 - オ. 食味試験：ゆで卵の食味試験

3. 養豚

- (1) 試験設計
 - 配合飼料に玄米粉砕品を50%配合。養豚に対して120～180日齢まで給与。
- (2) 調査項目
 - ア. 飼料成分
 - イ. 発育成績：増体重、飼料摂取量、飼料要求率
 - ウ. 枝肉成績：重量、背脂肪厚
 - エ. 肉質：保水性、伸展率、ドリップ量、水分、せん断力価、クロッキングロス
 - オ. 肉成分分析：背脂肪の脂肪酸組成
 - カ. 食味試験